

季刊

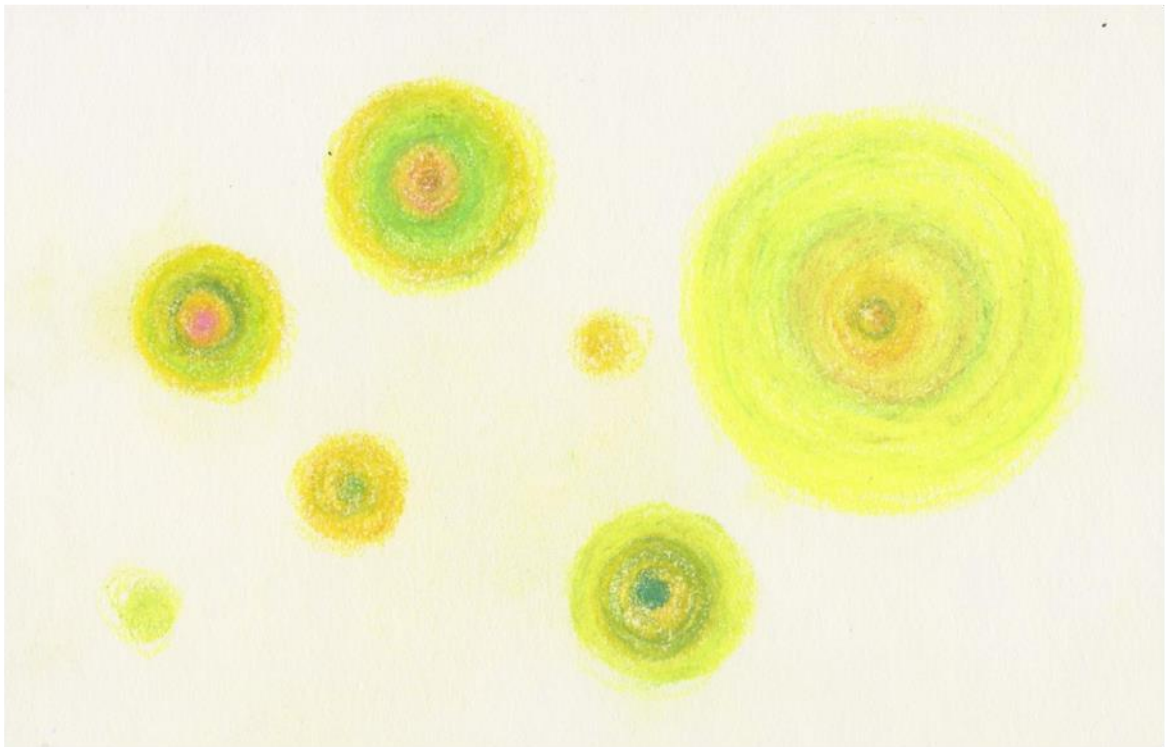
青葉の森から

第32号
Spring



2014年4月1日発行

みんなのギャラリー



絵:河辺 花さん

今シーズンの冬は、2週続けての大雪により大変厳しいものでしたね。
寒くてつらい冬の終わりは、別れの季節でもあります。ここ青葉の森に関わる人たちとの間にも、
たくさんの別れや卒業がありました。
暖かさとともに春がやってきました。春は新しい出会いの季節です。これからどんな人と素敵な
光景に出会えるのか、期待に胸をふくらませています。
今年度もどうぞよろしくお願いいたします。(新)

春だよ〜!

それって本当?

突然ですが、世の中で当たり前だと思われていることって、本当に当たり前なんですか。

例えば、図鑑に書かれている生き物たちのことです。本当かなあと思えることがあったりするのです。なので、やっぱり自分で確かめてみたいと思います。

そこで、今回から「不思議だなあ…」と思っている生き物のことを実際に自分で観察して、分かったことをお知らせして行こうと思っています。お楽しみに!

第一弾は青葉の森に春の訪れを知らせる花のひとつ“ ショウジョウバカマ ” を取り上げてみたいと思います。図鑑を調べると、ショウジョウバカマは花を咲かせた後にも茎をどんどん伸ばすと言われています。果たして本当なのですか?

また、どうして茎が伸びるのか? 私なりの仮説をたてながら観察したいと思います。今回の調査でその訳が分かるかな?



去年咲いたショウジョウバカマです。
本当はきれいな赤紫色なんですけど、うまく写せませんでした。

どうして咲かないの?

散策路をスミレの仲間が彩るようになると、青葉の森に春が来たことを実感します。今回はそんなスミレたちのお話です。

スミレは昆虫たちに受粉してもらうことで種子をつける植物といわれています。しかし、開花したスミレを注意深く観察していると、いつまでたっても開花しないで蕾のまま実になってしまうものがあります。どうしてなのでしょう?

その訳については、まだはっきりとしたことが分かっていないようなのですが、私はこんな風に考えています。

スミレの仲間が花を咲かせるのは、早春から初夏にかけての時期です。その時期は、受粉してくれる虫たちの種類や数が限られているうえに朝夕はまだ気温が低いので、虫たちの活動は活発とはいえず、十分な受粉がかなえられないのではないかと思います。

そこで、スミレの仲間は花粉を虫に運んでもらうことだけに頼らず、つぼみの中で雄しべが雌しべに花粉をタッチすることで実をつけられるように進化して、生きのびてきたのではないかと思います。

このことも上の記事(それって本当?)のように、自分で観察してみたいことなのですが、皆さんもスミレを見る時には注意して見てみてくださいね。

目に見えない所で繰り広げられていることを想像してみるとおもしろいと思います。また、植物は物事を考える脳があるわけでもないのに環境に順応していけることが不思議ですよね。私も目まぐるしく発展していく日本社会から取り残されないように、うまく順応して強く生きていきたいです(笑)

(佐)



マキノスミレ



ナガハシスミレ



アケボノスミレ



スミレ

イベント実施報告



けずり花

もうすぐお彼岸「けずり花をつくらしてみよう！」



講師の菱沼氏

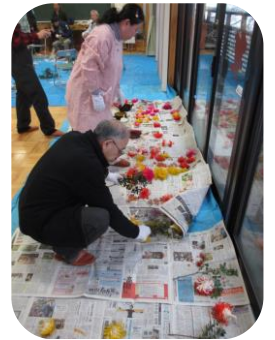
前夜から降り続けた雪が記録的な大雪となり、朝から交通障害が発生した2月15日（土）に、仙台を中心とした地域で続けられてきた“削り花”をつくり、春彼岸にかかる固有の里山文化に思いをめぐらせる催しを開催しました。

ご指導いただいた講師は地域の伝統文化を伝承したいという熱い思いをお持ちの菱沼仁平さん。削り花の起源や伝来、春彼岸の供え物として定着するようになった経緯などのお話から催しは始まりました。

その後、専用の刀を使って材料を削る作業に入りましたが、皆さん最初はなかなか思ったように削ることができないようでした。でも、諦めずに何度もチャレンジしているうちにコツを見つけて、お昼前にはそれぞれが個性豊かな花を削りあげました。

正午から昼食時間として40分ほど設定しましたが、削れるようになったことがよほど嬉しいとみえて、多くの皆さんが食事もそこそこにして削り続けていました。

午後は赤・黄・牡丹色と3色に染め、イヌツゲの枝に刺して仕上げました。



なかなか良い色だ…



うまくできましたあ〜っ！

初めて参加した女性から「ずっと以前から亡くなった主人や先祖の霊前に、自分の手でけずり花をつくらせて供えたいと思ってきたが、今回の催しのお陰で思いが叶えられたのが嬉しい」と喜んでいただけたことが、とても嬉しかったです。

最初は大雪の天候下で開催できるかどうかを心配していましたが、参加いただいた皆さんのお陰で無事開催できたことに感謝しています。（半）

平成25年度のJrレンジャーが誕生しました！



ん…むずかしい…

3月8日（土）の午後、1年間通して開催してきた親子でワクワク「森とあそぼう！」に参加してきた皆さんの卒業試験を実施しました。

受験したのは“年間を通じた12回の内、3回以上活動に参加していること”という条件を満たした皆さんです。今年の合格者は19名。難しい内容でしたが実際に体験し



鉛筆を走らせる音だけが…

てきたことが基になっている試験なので見事全員合格し、晴れてジュニアレンジャーになることが決まりました。



合格おめでとう！

ジュニアレンジャーは7月の海の日に開催予定の“小さなナチュラリストがガイドする「青葉の森ってどんなところ？」で市民の皆さんをガイドします。また今後の青葉の森の催しやガイドの補佐、後輩の育成などにに関わりながら自然の魅力を発信する役を担ってくれることとなります。

これからどんな活躍をしてくれるか、楽しみにしています。（半）



青葉の森瓦版

カタクリ群落調査

平成 25 年の 4 月より、カタクリのみちでカタクリ群落の調査を始めました。カタクリのみちより西側斜面を覆い尽くしていた笹を刈って地面に光を当てた結果、カタクリ群落が広がるのかどうかというものです。

そのため、調査地には赤い杭を打ち込みました。カタクリ群落再生を目的とする調査ですので、ご理解いただければと思います。



モズの“はやにえ”

モズ類には捕えた獲物を木の枝などに刺す習慣があります。それがはやにえです。

3 月に園内を歩いていたたら、木の枝に刺さったトカゲを発見しました。はやにえは秋につくられるものだと思っていたのに、雪が積もっている 2 月なのに最近刺したと思われるはやにえを見つけて驚きました。冬眠していたところを見つかったのか、温かくなって春だと思ってきたところをモズに捕まったのか。

トカゲにとっては悲惨な最期でしたが、静かな冬の森で生き物の生活の痕跡を見ることができてうれしく思いました。



疎林広場～花木広場間の復旧工事

平成 24 年に崩落した散策路の復旧工事が始まりました。なかなか難しい工事のようで、平成 26 年の 6 月頃までかかるかもしれないとのことですので、来園者の皆様にはもうしばらくご不便をおかけいたします。



新しいガイドマップができました

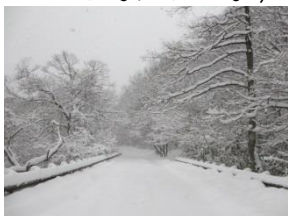
今までのガイドマップは A3 用紙に手書き風の簡易的なマップを載せたものでした。しかし、この春から現在の園内図と森の楽しみ方などを盛り込んだ新たなガイドマップができました。管理センターで配布していますので、ぜひ手に取っていただき、園内での散策をより楽しんでいただければと思います。



大雪にビックリ!

今年の 2 月に降った雪はすごかったですね。青葉の森職員たちの間では「今年は雪が少なく、雪かきに追われないから楽だねえ～」と喜んでいたところに、一度に集中して降ってきたような大雪に森を覆われ、昨年度以上に雪かきに追われた日々が続いてしまいました。

森の雪景色はきれいだったはずですが、今年のように景色を楽しむ余裕がなくなるような雪の降り方はもうかんべんしてほしいです



ブログも見てね

【ブログのアドレス (URL)】

<http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/aobanomoriryokuchi/>

青葉の森緑地 スタッフブログ

検索

Click

【ケータイはこの QR コードから】



イベントのお知らせ

定例イベント

親子でワクワク「森とあそぼう♪」 毎月第3土曜日(4/19、5/17、6/21)

対象/小学生以下の子どもと保護者15名(先着)

親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

☆平成26年4月から親子でワクワク「森とあそぼう♪」が毎月第3土曜日に変更になりました。お申し込みの際にはご注意ください。

森を体感「カタクリを見にいこう!」

日時:4月12日(土) 午前10時~11時半

内容:カタクリが一面に咲くスポットにご案内します。

対象:一般20名(先着)

持ち物:雨具など、歩きやすい格好で

「わかばの森のたんけんたい!」(仮)

日時:5月10日(土) 午前10時~12時

内容:初夏の森をたんけんします。

対象:小学生以上の子どもと保護者 15名(先着)

持ち物:雨具、飲み物、歩きやすい服装

各イベントの申し込みは、毎月6日または7日午前9時から

電話 022-263-2101 で受付いたします。

“市政だより”または

インターネットでも詳しい情報をご確認頂けます。

杜のひろば:<http://www.sendai-park.or.jp/>

青葉の森緑地 スタッフブログ



☆ お便り大募集 ☆

青葉の森を歩いたご感想や身近な自然についての情報、また今号へのご意見・ご感想など、編集部までお送りください☆

宛先:〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260

青葉の森管理センター 情報誌編集部

団体利用のご案内 ~ もっと青葉の森を楽しみませんか♪ ~

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

ご希望に応じて活動の内容は準備させていただきます。参加費は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

【 青葉の森管理センター 022-263-2101 】



これってなんだべ!?



だれかのつばなのかな～?

5月の下旬頃に森の中の小道を歩いていると、木や草の枝などに泡が付いているのを見かけることがあります。これはなんだろう？ 誰かがつばがくっつけたのかな？

周りを見渡すと、あちらこちらにあるよ！青葉の森に来るいたずら坊主たちでも、こんなにつばを吐いたらのどがからからになっちゃうね(X_X)



こんなにおおきいのもあるぞ!?



あれっ! なにかいる…

中がどうなっているのか見てみたくなって、ワクワクしながら泡をさわるとなんだかねばねばしているよ！やっぱりつばなの!? おそろおそろどけてみると…泡の中から赤い小さい虫が現れたよ!

実はこの虫、アワフキムシというセミの仲間の幼虫で、植物の汁を吸って生きているんだって。アワフキムシは幼虫の間、自分のおしっこに息を吹き込んで泡を作って家になっているんだ。よくジュースなどをストローでぶくぶくやって怒られる、あれだね！ねばねばしているのは、泡立ちをよくしたり丈夫にする成分が入っているからなんだ。



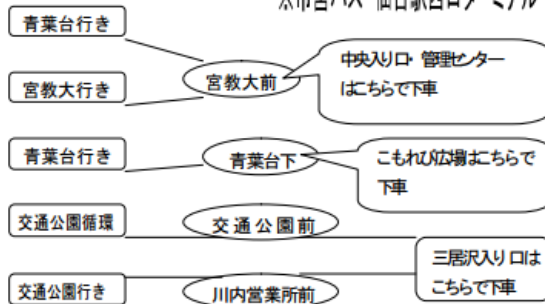
きみのおうちだったんだね～!

南フランスでは“カッコウのつば”だって言い伝えられているらしいよ。カッコウが鳴く頃とちょうど同じ時期に見られるから、カッコウのしわざだと思ったのかな？アワフキムシの幼虫の巣は、泡で包まれているから怖い敵にも見つかりにくくだけでなく、アリなどの敵も溺れてしまうため、おそわれることがないんだって！あたたかくて乾燥からも守られ、安全で快適で無駄がないエコな家なんだね。(新)

青葉の森緑地 アクセス



※市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30
休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）
発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102
ホームページ：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/
ブログ：http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/aobanomoriryokuchi/